

第 49 回 理事会議事録

特定非営利活動法人オリーブの家事務所(岡山県津山市中島 232 番地 11)

2022 年 6 月 25 日(土)午後 14 時 30 分～理事会を開催した。

当団体の理事総数 7 名

出席理事 7 名

山本康世、浅野肇之、森内忍

國吉和美、都築真敏、服部みさと、山本礼知

参加監事 1 名

野坂 和夫

出席正会員 3 名

砂子 浩、小西竣也、米森千尋

以上のとおり理事の過半数以上が出席及び欠席者からは委任状を受理したので、理事長山本康世が議長となり、開会を宣し議事に入った。

議案 当団体の活動報告及び今後の活動予定について

先月からの活動報告及び今後の課題、予算案、活動の広報について協議、検討を行った。

概要は次のとおりである。

(1)活動報告事項

○会員数、寄付金報告

・2022 年度 (2022 年 4 月 1 日～第 49 回理事会開催時点)

個人正会員	10	口	
個人賛助会員	2	口	
READYFOR 継続	5月 56	件	111,000 円
シンカブル	9	件	23,524 円
大和証券	1	件	200,000 円
寄付金	70	件	435,524 円

○相談者数報告

・2022 年度（2022 年 4 月 1 日～第 49 回理事会開催時点）

DV 被害	女性 87 件	男性 9 件	子ども 2 件
DV 加害	男性 4 件		
貧困母子家庭	計 25 件		
ストーカー被害	計 1 件		
行政機関団体その他	計 35 件		

○保護人数及び保護依頼状況(2022 年 6 月)

保護依頼	計 6 件	退所	5 名	継続	7 名	新規	4 名
保 護	計 11 名（同伴児童含む）（詳細は別紙参照）						

(2)主な事業の課題と予算の審議事項

1. 一時保護シェルター運営について

- ・大和証券岡山支店より、当団体事務所に来所され20万円の寄付をいただいた。今回の寄付は記念事業のため定期的ではないが、有効に活用していただけたら幸いです。と支店長よりお話があった。今後、大和証券のHP等に掲載される予定。当団体のHPやFBでも発信していく予定。
- ・昨年度の状況や現在の状況を踏まえて、常にシェルターが満室で稼働している状況で現在は何とか取りこぼしなく支援ができていますが、今後、増加が予想されるためシェルターの確保に関わる情報があれば、提供して欲しいと参加理事に情報を投げかけた。
- ・シェルター入居者への食糧及び生活品等の支援
寄付によるふるさと納税返礼品での食料支援継続中
岡山NPOセンターを通じての食糧寄付
ライオンズクラブ、支援者（一般）からの食糧寄付
Amazon みんなの応援プログラムで生活用品、子ども用日用品など寄付依頼
- ・政策提言について7月12日に岡山県労働組合の会館で、参議院の議員にオリーブの家の実態についてのお話の場を設けていただいた。こちらからは、政策に繋げていくまでの流れを質問していきたい。
- ・2021年度の利用者の傾向をデータとしてまとめたため、そのデータも持参し、議員と話していく。当事者の声をどのようにしていくのか。このデータは団体HPに公開し、多くの方に知ってもらえるように発信していく。
- ・シェルターの現状について
満室。今月、居住支援を行い1名が退所された。
改修が必要なシェルターは、今後固定費をどのようにしていく必要があるのかを検討していく。→1人部屋の必要性。
- ・倉敷シェルターもなかなか空きが出ない程利用数増えている。色々な機関からの問合せが多数。今後、シェルター業務の対応難しい場合は、業務委託をしようと検討中。
シェルター：売却して、別の場所で共同生活苦手な方向きの場所を準備することも検討中（親子向き）
利用者の傾向としては、特性を持っている方が多くなり就労支援が必要だが、A型作業所、B型作業所は定員がいっぱいな状況。地域包括支援センターなどからの相談も増えている。精神障害は就労が非常に難しい。シェルターでの共同生活も難しいときがあり、シェルターの生活が厳しい。

2. カウンセリング事業課題

- ・毎月実施しているさんさんの無料カウンセリングは、現在予約でいっぱいだが傾向として男性の需要が増えているとのこと。また傾向として加害者、被害者ともに過去に虐待を受けているケースがほとんどで、負の連鎖になっていると理事長よりお話があった。

- ・ KOTOMO 基金⇒報告動画を岡山 NPO センターさんが作成してくださる予定。支援者に訴える。
- ・ 電話でのカウンセリング事業
電話でのカウンセリングを行うための相談員のスキルアップ勉強会開催

3. DV 被害者セーフティーネット強化パイロット事業（申請中）

- ・ 内示をいただいた。8月～R5.3月までの事業。予算などの詳細は判明していない。予算によって、事業内容の変更あり。優先順位としては、窓口事業が高い。

4. 2022 年～2025 年中期計画の策定について

- ・ 非営利組織評価センターにも、提出しグッドガバナンスの改善項目も改善した事を理事間で共有した。理事の中からは、定期的に見直す機会の重要性の話があった。また、事務局が団体 HP にも掲載している旨を伝えた。

5.その他

- ・ 前回の理事会でも話にあがったが、JR西日本あんしん社会財団のセミナー事業で、お手伝いしていただいているカメラマンの方が製作された映画の上映会を関係者含め、どこかで実施できないかとの提案があった。上映できそうな場所などの情報があれば、共有して欲しいとのことだった。
⇒正会員の砂子さんより、県南の施設や赤磐市の施設の情報の紹介があった。必要になれば砂子さんまで連絡を入れるようになっている。
- ・ セミナー活動を依頼されている。橋本財団、KOTOMO 基金から登壇を依頼されている。データをまとめており、この傾向を仕組みとして提言していく。
緊急を要する方に関しては、シェルターの利用を考えている。
- ・ 教育事業（休眠預金活用）で、就労体験に行く予定。9月19日（祝日）を予定している。

（下記事項については全員で確認及び作業）

- 奇数月に名簿のチェック
- 寄付者への領収書・文章送付は、発生次第随時行う（Ready for 以外も）
- 事務所での整理整頓、書類整理等の課題については、随時各担当者主体に行う

☆次回理事会開催予定☆

日 時 2022 年 7 月 18 日(月) 午後 13 時 30 分～午後 15 時 30 分

場 所 当団体事務所（岡山県津山市中島232番地11）

理事長、理事及び会員により弊社の今後の活動方針の協議を執り行った。事業課題と予算及び資金調達について話し合い、その承認の可否につき審議した結果、以下のとおり全員一致をもって承認可決した。

記

今後の活動予定及び方針等について、承認する。

以上をもって議事を終了したので、議長は午後16時00分に閉会を宣した。

上記の決議を明らかにするため、この議事録を作成し、議長及び本会議で選出された議事録署名人2名が以下に記名押印する。

2022年6月25日

特定非営利活動法人オリーブの家 理事会

議長 理事長 山本 康世



出席理事 國吉 和美



同 服部 みさと

